

『植物と人々の博物館』 vol.9

夏が明けて既に秋の気配が漂う小菅村です。この時期が一番過ごしやすそうですね～！

①『第 26 回雑穀研究会シンポジウム開催』の報告

本会理事の井村礼恵さん(あべちゃん)が小菅村に住み、働いている時に小菅村で開催して以来、ちょうど 10 年ぶりの小菅村での開催となりました。



9 月 1 日の初日は、植物と人々の博物館をご案内し、小菅の湯へ寄ってから、宿泊先の民宿「山水館」へ。ミューゼス研究会代表の青柳諭さんによる小菅村の紹介をし、小永田地区の神代神楽へご案内しました。



9 月 2 日は、午前中に研究発表を行い、午後からは小菅村内の雑穀を中心とした案内と雑穀料理づくりを行いました。橋立地区では木下新造さんに、中組地区では、守屋アキ子さんに講師をしていただきました。夜はお話しと懇親会で、植物と人々の博物館館長の木下善晴さんと、雑穀栽培顧問である丹波山村の岡部良雄さんご夫妻に来ていただきました。

9 月 3 日は、朝一番に小菅村の新村長の船木直美(なおよし)さんにご挨拶をいただき、小菅村を出発してお隣、上野原市の西原地区(さいはら)へ。雑穀栽培顧問である中川智さんに雑穀を中心としたご案内をしていただきました。



雑穀研究会のシンポジウムということで、専門家の方が多く、不思議な感覚でした。専門家の方が訪れる小菅村…いいですね～！！



② 雑穀見本園の様子

雨が降らない夏でしたが、さすがに雑穀は感想に強いですね。新しい畑は日当たりもよく、雑穀の生育がものすごくよいです。



キビは 8 月 30 日に、山梨県立博物館の収穫実験(石包丁による)で収穫しました。アワも 10 月 9 日に同じく収穫実験で収穫する予定です。

今年はシコクビエも少～しだけ栽培しています。東京学芸大学の環境教育研究センターの農場で苗立てしてもらい、小菅村の雑穀見本園に移植しました。こちらも遅かった割には良い生育をしています。